

ロッテバイオロジクスが「2026 CDMOリーダーシップ・アワード」受賞 グローバルな品質マネジメント力が評価

- DCAT Weekにて「Best New or Relunched CDMO」アワードを受賞
- 設立から4年で、米国シラキュース・韓国松島（ソンド）の“デュアルサイト戦略”という差別化されたサービス力が高く評価

ロッテバイオロジクス（本社：韓国ソウル市、共同CEO：ジエームズ・パク、重光 聡）は、米国ニューヨークで開催された世界的なバイオ医薬品パートナーリングイベント「DCAT Week 2026」において、3月26日、医薬品開発・製造受託(CDMO) 分野の権威ある賞「2026 CDMOリーダーシップ・アワード (CDMO Leadership Awards)」を受賞いたしました。

「CDMOリーダーシップ・アワード」は、Outsourced PharmaおよびLife Science Connectが主催する国際的な表彰制度です。直近18～24か月以内にグローバル製薬・バイオ企業的意思決定者による厳格な評価を通じて、「能力」「親和性」「専門性」「品質」「信頼性」「サービス」の各観点で卓越した実績を示したCDMO企業が選出されます。特に2026年からは、タフツ大学医薬品開発研究センター（Tufts CSDD）による独立した研究監督が導入され、評価の客観性および信頼性が一層強化されました。

ロッテバイオロジクスは、今回「Best New or Relunched CDMO」に選出されました。本部門は、市場参入や事業再構築を成功した企業の中から、差別化された競争力と明確な戦略に基づき、グローバルなパートナー企業から高い信頼を獲得した企業に授与されるものです。

今回の受賞について当社は、設立から4年で達成した成果であり、グローバル市場におけるブランド認知の急速な高まりとともに、CDMOサービスの品質および実行力が顧客企業から直接評価された点において、非常に意義深い成果であると認識しています。

特に業界内では、米国ニューヨーク州にあるシラキュース・バイオキャンパスと韓国松島バイオキャンパスを軸とする「デュアルサイト（Dual Site）戦略」の成果に注目が集まっています。シラキュース・バイオキャンパスでは世界62を超える規制当局からの承認実績に加え、抗体薬物複合体(ADC)モダリティの拡充を背景に、グローバル顧客から高い信頼と評価を獲得しており、その競争力が改めて証明された形となりました。

ロッテバイオロジクスは、今後、2026年8月に竣工予定の松島バイオキャンパス第1工場を基盤に、抗体医薬品のポートフォリオを迅速に拡大し、次世代バイオ市場を牽引する中核プレイヤーとして成長を加速させる見通しです。

■ ロッテバイオロジクス担当責任者のコメント

設立から短期間で、グローバル市場において栄誉あるアワードを受賞できたことは、大変意義深い成果です。今後も、単なる規模の拡大にとどまることなく、グローバルなバイオエコシステムに実質的な価値を提供するリーディングカンパニーとしての役割と責任を、より一層強化してまいります。

なお、ロッテバイオロジクスは、今回のDCAT Week期間中、ロッテ・ニューヨーク・パレス・ホテルに専用ミーティングルームを設け、グローバル製薬企業およびバイオテック企業との戦略的パートナーシップ拡大に向けた活発なミーティングを行いました。

■ ロッテバイオロジクスについて

ロッテバイオロジクスは、より健康的な世界に貢献する医薬品を提供することを使命として、2022年に韓国ソウルに本社を置いて設立されました。米国ニューヨーク州にあるシラキュース・バイオキャンパスでは、医薬品原薬の高品質なGMP製造サービスを提供しています。この施設では、5,000リットルのステンレス製バイオリアクター8基による合計40,000リットルの生産能力を備えています。また、同キャンパスには、世界62以上の規制当局から承認を受けた分析QC試験ラボや倉庫施設も併設されています。さらにロッテバイオロジクスは、抗体薬物複合体（ADC）の結合技術サービスを通じて、新たな専門領域にも進出しています。原薬製造およびコンジュゲート（結合）機能の両方を備えたADCモダリティに1億ドル以上の投資を行っており、原薬製造からコンジュゲーションまで一貫した、エンドツーエンドのサービスを提供しています。ロッテバイオロジクスは将来を見据え、韓国松島（ソンド）バイオキャンパスにおいて、先進的なバイオプラントの建設を進めています。第1プラントはすでに着工しており、2027年の稼働開始を予定しています。施設には、商業生産向けの15,000リットルのステンレス製バイオリアクター8基と、臨床用途に対応する2,000リットルのシングルユースバイオリアクター複数基が設置される予定です。これにより合計で120,000リットルを超えるバイオリアクター容量を誇る製造拠点となります。

詳細は <https://www.lottebiologics.com> をご覧ください。